

ディア・ハンター

The Deer Hunter

鑑賞日：2016・5・23

制作 1978年 米 上映時間 183分
監督 マイケル・チミノ
脚本 デリック・ウォッシュバーン
出演 ロバート・デ・ニーロ、クリストファー・ウォーケン、ジョン・サヴェージ、ジョン・カザール、メリル・ストリープ、ルターナ・アルタ
受賞 アカデミー作品、監督、助演男優（C・ウォーケン）、音響、編集賞

(あらすじ)

ペンシルバニア州のピッツバーグ郊外にあるクレアトンの製鉄所で働くロシア系移民のマイケル（R・デ・ニーロ）、ニック（C・ウォーケン）、スティーヴン（J・サヴェージ）、スタンリー（J・カザール）、アクセル（チャック・アスペgren）、ジョン（ジョージ・ズンザ）は休日になれば全員で鹿狩りに行く仲の良いグループである。そんな彼らにもベトナム戦争の波が押し寄せ、マイケル、ニック、スティーヴンの3名が徴兵された。3名の壮行会がスティーヴンとアニタとの結婚式も兼ねて行われた。一夜明けて、彼らは揃って鹿狩りに出かけ、マイケルは大きな鹿を一撃のもとに仕留めた。

ベトナムの米軍は苦戦を強いられていた。マイケルは戦場で偶然にもニック、スティーヴンに再会するが、ベトナム人民軍の攻撃に敗れて3人は捕虜となる。閉じ込められた小屋の中ではロシアン・ルーレットが行われていた。北ベトナムの兵士たちは捕虜に一発の弾を込められたリボルバーの拳銃を渡し、それを自らのこめかみに向け引き金を引かせて、6分の1の確率で犠牲者が出るのを楽しんでいた。銃弾の発射音を聞いて、スティーヴンは発狂寸前となった。マイケルは冷静に脱出する方法を考えて、北ベトナムの兵に銃弾を3発に増やすことを提案した。北ベトナム兵が3発の銃弾をマイケルに渡すと、間髪をいれずに次々に北ベトナム兵士を射殺し、ニックとスティーヴンを連れては脱出に成功した……

(解説)

1973年にベトナム戦争が終結し、その5年後1978年に、それまでハリウッドではタブーとされていたベトナム戦争を題材とした映画が初めて作られ、公開された。その映画が『ディア・ハンター』である。マイケル・チミノ監督はこの映画を戦争場面を描くより、徴兵された3人の若者の身体と心に与えた影響を丹念に追いかける。スティーヴンは負傷して足を切断して病院暮らしとなり、ニックは精神に異常をきたしてロシアン・ルーレットの賭場で射手となり、身を滅ぼす。マイケルも同じように心を病み、以前のように鹿を撃つことができなくなる。マイケルも、帰国しても友人を危険な目に合わせたという罪の意識を持ったまま、生きていかねばならない。マイケル・チミノは、ベトナム戦争が若者たちに深い後遺症を残したことを訴えている。